

標準委員会 第12回基盤・応用技術専門部会議事録

1. 日 時 2011年7月1日（金） 10：00～11：55
2. 場 所 （独）原子力安全基盤機構本館4C，D会議室
3. 出席者（敬称略）
 - （出席委員） 岡本（部会長），萩原（副部会長），吉田（幹事），越塚，山口，市川，石塚，上野，堀田，日比，西田，浦上，宮坂（13名）
 - （代理出席委員）大島（堺代理），石川（坂本代理），園田（北島代理），佐田（沼田代理），田中（山内代理）（5名）
 - （欠席委員） 岩崎，吉澤，金子，笠原（4名）
 - （説明者） 森本，工藤
 - （傍聴者） 新崎，安田，林，中村，石倉，福島，湊
 - （事務局） 菅野
4. 配付資料
 - ATC12-0 議事次第
 - ATC12-1 前回議事録（案）
 - ATC12-2-1 「実用発電用原子炉施設等の廃止措置の計画：20XX（改定案）」公衆審査の結果
 - ATC12-2-2 「実用発電用原子炉施設等の廃止措置の計画：20XX（改定案）」公衆審査ご意見への対応（案）
 - ATC12-3-1 「原子力施設の廃止措置の実施：20XX」決議投票の結果
 - ATC12-3-2 「原子力施設の廃止措置の実施：20XX」標準原案に対する標準委員会書面投票時の委員のご意見への対応（案）
 - ATC12-3-3 「原子力施設の廃止措置の実施：20XX」改定原案
 - ATC12-4 有効高さ評価モデル実施基準 標準
 - ATC12-4（付録） 有効高さ評価モデル実施基準 コメント集約表（専門委員会・標準委員会）
 - ATC12-5 標準策定スケジュール（案）

参考資料

- ATC12-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿
- ATC12-参考2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

議事に先立ち、事務局より、委員22名中、代理委員を含めて18名が出席しており、成立に必要な定足数（15名以上）を満足している旨報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC12-1）

事務局より、前回議事録（案）について説明があり、前回議事録（案）は承認された。

(2) 【公衆審査結果報告及び意見対応】「実用発電用原子炉施設等の廃止措置の計画：20XX」（ATC12-2-1, 2）

事務局より、ATC12-2-1に基づき公衆審査結果が報告された後、廃止措置分科会の田中幹事より、資料ATC12-2-2に基づき、「実用発電用原子炉施設等の廃止措置の計画：20XX」に対する公衆審査意見への対応について説明が行われた。

審議の結果、事故発生プラントを本標準の適用範囲外とする本文変更は行わず、解説又は補記に追記する等の修正の上、対応（案）を7/7の標準委員会に報告することが決議された。

(3) 【標準委員会書面投票結果の審議】「原子力施設の廃止措置の実施：20XX」（ATC12-3-1～3）

事務局より、ATC12-3-1に基づき標準委員会書面投票結果が報告された後、廃止措置分科会の工藤委員より、資料ATC12-3-2, 3に基づき、「原子力施設の廃止措置の実施：20XX」の書面投票意見への対応について説明が行われた。

審議の結果、事故発生プラントを本標準の適用範囲外とする記載場所、記載方法等、本日のコメントを反映した上で、7/7の標準委員会に本報告することが決議された。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・ 適用範囲に追加された“通常の操作により運転又は操業を停止した施設・・・”について、“通常”の定義が曖昧であることから、追加文を削除することとなった。福島第一を適用範囲外とすることについては、岡本部会長の説明文書（後日入手）をベースに補記として記載することとなった。
- ・ 箇条4“廃止措置の基本的考え方”は“計画”標準に対して2重規制になるとのご指摘が標準委員会委員からあり、附属書A（規定）に移動することとし、題目も“基本的考え方”から“基本的要求事項”に変更した。これに対し、“考え方：policy”と“要求事項：requirement”は異なるものであり、ここでは考え方を示しているため、題目は修正しないこととなった。
- ・ 箇条4“・・・附属書Aによる（AESJ-SC-A0XX 箇条4 参照）”とあるが、（ ）内は附属書に記載し、本文からは削除する。
- ・ 5.1の“施設別実施項目は、表B.1による”→“施設別実施項目は、附属書Bによる”に修正する。

- ・ 日比委員の氏名が誤記となっているので修正する。
- (4) 【部会コメント対応状況報告】「発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準(案)」(ATC12-4及び4(付録))
有効高さ評価モデル分科会の佐田幹事より、資料ATC12-4及び4(付録)に基づき、前回のコメント対応審議時に出された追加コメントへの対応案の説明が行われた。
審議の結果、専門部会書面投票を行うことが決議された。
- (5) 標準委員会の活動状況(ATC12-参考2)
事務局より、標準委員会の活動状況について説明が行われた。
- (6) その他
次回専門部会は、8月下旬から9月上旬で別途日程調整することとした。

以上